

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		草笛学園		公表日		2025年 2 月 27 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点				
環境 制 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4			・お子さん普段過ごしている環境の中で集団 適応を支援していけるように考えているた め、訪問支援に教材や教具を持ち込んではい ません。教材などの工夫を提案させていただ くことはあります。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・2名体勢で実施しています。複数の視点で子 どもの観察ができたり、話し合いができてい ます。					
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3	1	・担当施設の職員同士では、訪問の振り返り や事前の話し合いはできていますが、担当職 員全員での共有が十分にできていません。	・定期的に会議を行ない、話し合う機会を設 けていきます。				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・例年、年度末に保護者の方と訪問先の先生 にアンケートを実施し、職員間で振り返りをお こなっています。今年度は評価表により、 業務改善に向けての会議日を設けています。	・引き続き、保護者、訪問先の意向を把握し 業務改善に努めます。				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3	1	・定期的に担当者での会議日を設定するよう にしていますが、兼任のため時間が取りにく い状況です。	・会議日を保障できるように工夫していきま す。				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		4		・今後、実施の検討をしていきます。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4		・職員のスキルアップのため、年数に応じて 研修に参加するようにしています。	・訪問支援に特化した研修にも参加し、職員 の資質の向上を目指していきます。				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4		・独自のアセスメント表を使用して実態把握 をし、また、訪問支援開始前に保護者の方と 訪問先の先生にフェイスシートにお子さんの 様子を記入していただき、懇談では保護者の方 の意向、事前の連携で先生の意向をお聞き し支援計画を作成しています。	・引き続き、お子さんの実態、発達や特性な どを把握し、保護者の方や訪問先の先生の方 の意向をお聞きしながらよりよい支援計画を作 成し、支援を行なっていきます。				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4							
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4							
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4							
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4							
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4							
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。						11の項目と同様		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	4					・訪問先から提出していただいている検討表 をもとに、支援開始前は担当職員で内容を確認 し、話し合いを行っています。	・打ち合わせや振り返りが丁寧にできるよう に、時間を保障していきます。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・支援終了後に支援記録表に内容を記録し職 員間で共有をしています。						
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4		・訪問先施設の理念やねらいを確認するよう にしています。	・引き続き、理念や支援手法などを尊重し支 援に努めます。					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	4		・支援終了後に支援記録表に内容を記録し職 員間で共有をしています。						

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・保護者の方には訪問支援の内容の記録をお渡しして共有していますが、定期的に意向を聞くことはできていません。	・定期的に保護者の方の意向を聞く機会を設けられるよう調整していきたいと思います。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		4	・会議の開催は今のところありません。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		・講演会では、外部から講師をおよびしています。 ・職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしています。	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・訪問支援の内容の記録をお渡しして共通理解を図るようにしています。ただ、報告と言う形になっているので、訪問後、保護者の思いを聞く機会があってもよいと思います。	・訪問後の保護者の思いや感想を聞けるような機会を検討していきます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・講演会のご案内をしています。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に重要事項の説明を行なっています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・保護者の方から依頼の相談があった時点で、訪問先施設に概要を説明しお受けしてもらえるかを確認しています。契約後に改めて、訪問先にお伺いさせていただき、「保育所等訪問支援事業について」のパンフレットに沿いながら、訪問支援の趣旨や目的、支援内容の説明を行なっています。	・引き続き、保護者の方に分かりやすく丁寧な説明に努めていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・支援計画を作成する前に、保護者の方の意向や子どもの実態を把握するために面談をおこなっています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		・説明の十分な時間はとれていません。	・十分な時間が保障できるように検討していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・悩みや相談があった場合には、その都度応じています。	・保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会を設けられるよう検討していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	・保育所等訪問支援事業を利用している保護者同士がつながれるような機会は設けられていません。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・支援開始前の面談、契約時に周知しています。	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、相談や申し入れがあった場合には、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、保護者の方が安心して子育てができるように努めていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・必要な情報については、紙面で発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・個人情報の扱いは重要かつ慎重なことです。意識を高め、管理の徹底に努めます。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・保護者や訪問先の先生とも分かりやすく情報伝達することを意識するようにしています。	・必要に応じて、丁寧な配慮を行っていきます。	
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		・支援日に限らず、相談があった際にはその都度対応していますが、専任ではないため、すぐに返答できない時もあります。	・相談があった際には、適切に対応できるように努めていきます。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・訪問日に子どもの様子を見せていただいた後、1時間程度カンファレンスを行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・訪問支援内容の記録をお渡しし共有を図っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・メールなどで情報を共有する際は、個人名を削除するようにしています。	・個人情報の扱いは重要かつ慎重なことです。マニュアルを作成し、職員間で意識を高め、管理の徹底に努めます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		・先生方の悩みや困りごとを共有し、子どもの発達や特性、訪問先の環境も考慮しながら、一方的な助言にならないように、一緒に考えていくという事を大事にしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・草笛学園として、各マニュアルの作成、安全計画の作成、研修や訓練、ヒヤリハットの共有と方策、虐待に関する研修など行なっています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			